

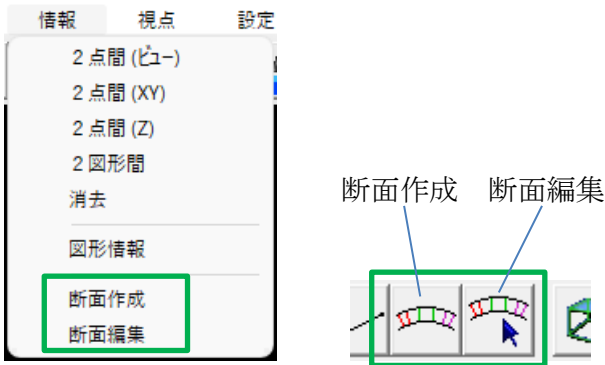
NCStudio Version 2.0 のお知らせ

NCStudio Version 2.0 の新機能についてお知らせいたします。

1. 断面線表示と間隔計算 (V. 2.0.0)

ワークの断面表示と、2断面間の間隔を計算する機能で、製品形状に対する残り代の計算や、キャビ・コア（パンチ・ダイ）の隙間の評価に利用できます。

プルダウンメニューとアイコンに【断面作成】【断面編集】のコマンドを追加しました。

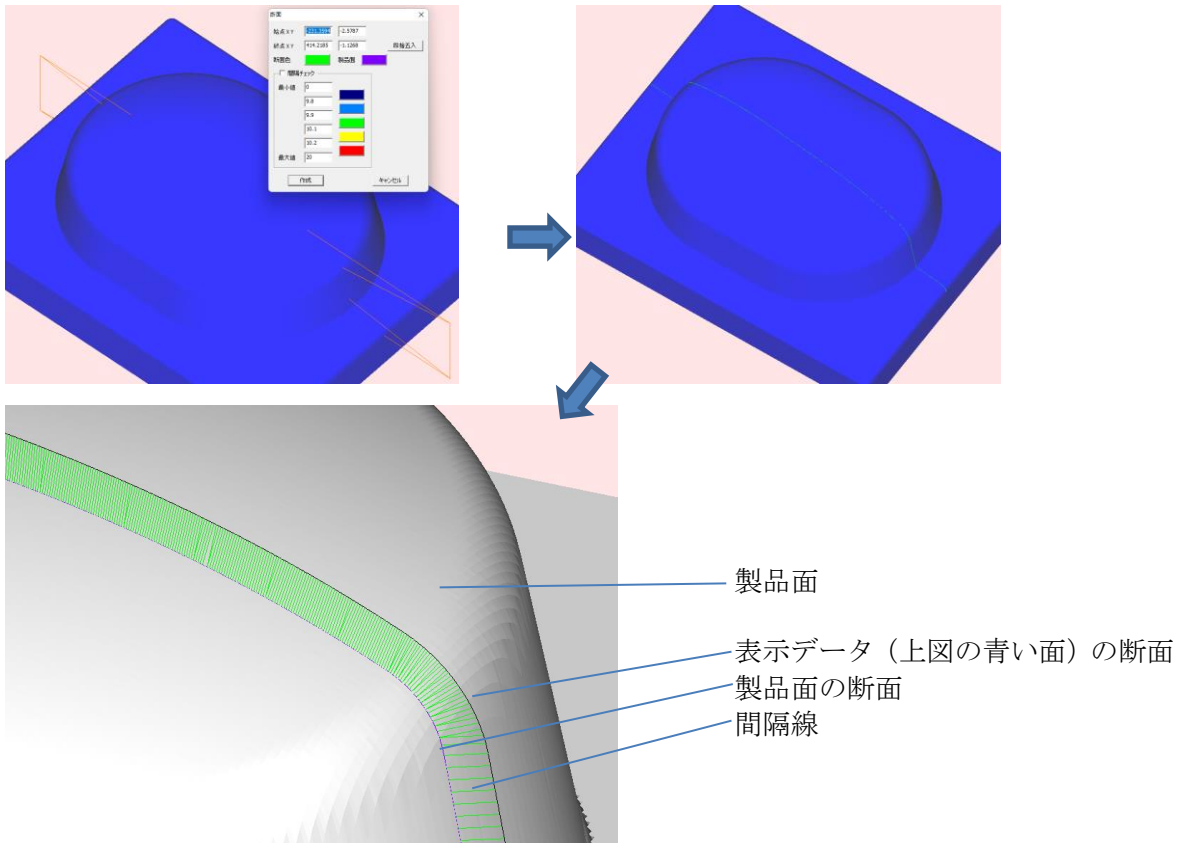


1) 断面線・間隔線作成機能

断面線は垂直面とワーク形状の交線です。

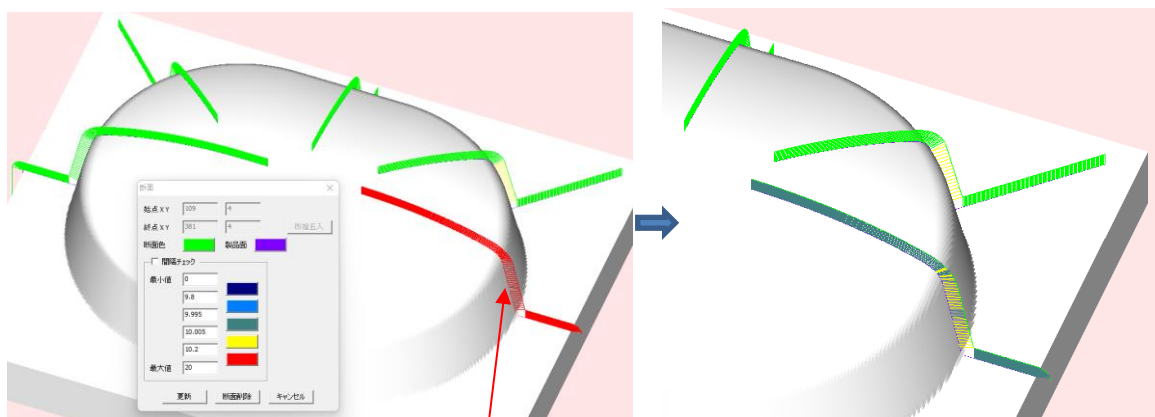
間隔線は、製品形状を指定している場合に計算します。表示しているワーク形状の断面線と、製品形状の断面線を計算し、2断面の各箇所の最短間隔の線分で、長さ（間隔）に応じて色分け表示します。

マウス右ボタンを押した位置と離れた位置から断面（オレンジの形状）を計算し表示します。



2) 断面編集機能

指示した断面の表示色を変更します。 断面の削除もおこなえます。



指示した断面

3) 断面ファイル

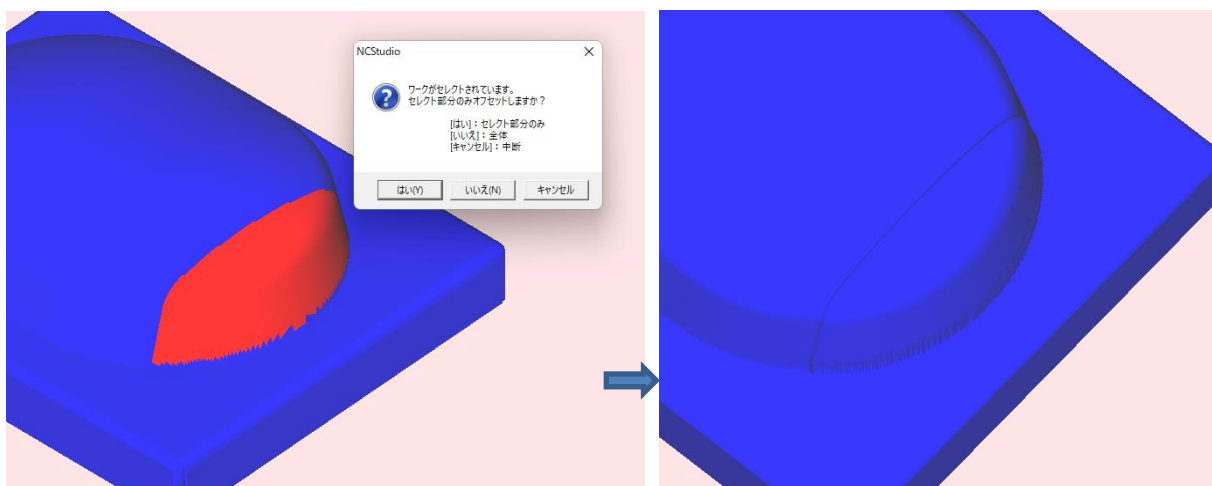
断面形状はプロジェクトフォルダに拡張子 `sct` で保存し、次回、プロジェクト読み込み時に表示します。

4) 間隔線

間隔線は断面間の距離計算です。面と面との最短距離計算ではありません。 断面を製品面の法線に垂直に作成することで、面と面との最短距離計算値に近づけることができます。

2. ワークの部分オフセット (V.2.0.0)

ワークのオフセット機能で、ワークのセレクトした個所のみでのオフセット機能を追加しました。 鋳物チェック時に想定より大きい箇所（取り代が大きい箇所）があった場合や、修正加工の肉盛りなどに利用します。



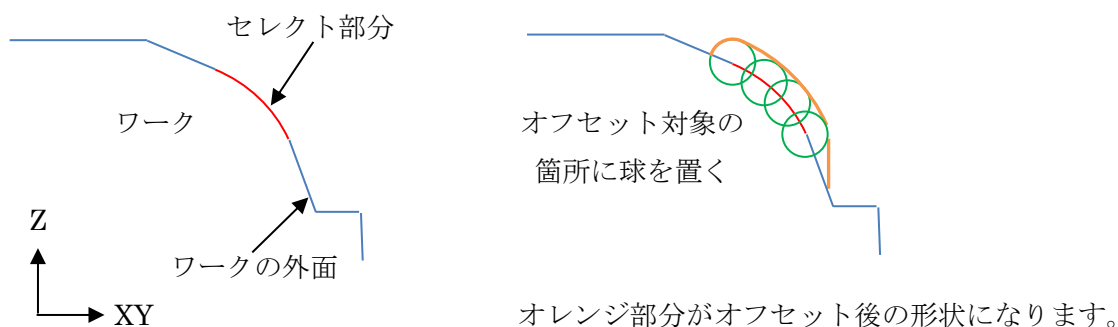
ワークの対象部分をセレクトしてオフセットをおこないます。 確認ダイアログが表示されますので【はい】を押します。

対象部分のみがオフセットされます。

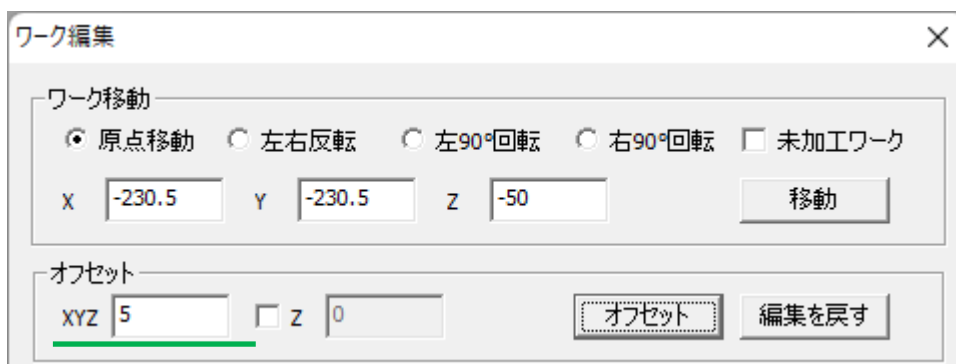
セレクトは Ver.1.10 機能の【Alt】+マウス左ボタンです。（標準設定の場合）

1) オフセットの計算方法

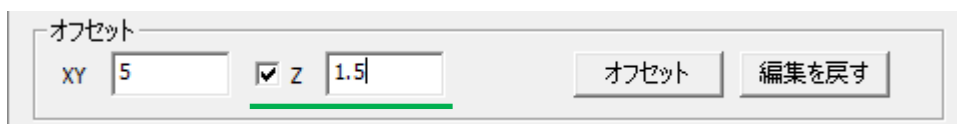
XYZの3方向オフセット後の形状は下記の計算方法です。



2) オフセットコマンドの拡張



- (1) 3方向オフセットの数値入力はXYZの指定のみでおこなえます。従来バージョンのZのオフセット量のみ値を変更する場合は「□Z」をOnにします。(下図)



- (2) 【編集を戻す】ボタンでオフセット前の状態に戻すことができます。
本機能は【切り出し】の後の【編集を戻す】と共通です。オフセットの後切り出しをおこない、【編集を戻す】をおこなうと、【切り出し】前の状態に戻ります。【編集を戻す】は直前の編集を1回のみ戻すことができます。

3. ビューの保存機能 (V.2.0)

プロジェクト保存時に、ズーム倍率、視点方向、表示中心位置を保存します。プロジェクト読み込み時に保存した状態で表示することができます。

※保存した時点と、読み込み時でウィンドウサイズが違う場合は、ズーム倍率が変更になる場合があります。

4. Windows11の対応 (V.2.0)

Windows11でNCStudioを使用される場合は、NCStudio/Version 2.0以降をご使用ください。

5. 不具合修正

項目の最後のバージョン番号は修正を行ったバージョン番号です。

- 1) 製品形状を読み込むと、その後、別のプロジェクトを読み込んでも、前の製品形状が表示されたまになる場合があった。(V.2.0.0.0)
- 2) NC データや製品面をセレクトした状態で、別のプロジェクトを読み込んでも、セレクトの赤い表示が残ったままになっていた。(V.2.0.0.0)
- 3) NC データや製品面をセレクトした直後に 2 点間距離コマンドを実行すると、ウィンドウ表示が一瞬ずれる場合があった。(V.2.0.0.0)
- 4) パス追加機能で、短い (0.005~0.002mm 程度) が続く NC データを使用すると、Z 方向の追加回数が多くなりすぎる場合があった。(V.2.0.0.1)

6. リリース日程

V.2.0.0.1 は 2022 年 4 月 15 日にリリースいたしました。

V.2.0.* をご使用の際は保守期限が 2022 年 3 月以降のプロテクトキーが必要です。

V.1.10.* の設定ファイル・各種データファイルは、V.2.0.*に対して上位互換で使用できます。

2022/04/15 スタジオ・ウェイズ